

529

特245
580

大谷光瑞師述

現下の時局に就いて

附 相手國別本邦重要貿易品一覽表
本邦重要貿易品一覽表
(商工省貿易局編纂)



0009601000

0009601-000

特245-580

現下の時局に就いて

大谷光瑞・述

光瑞会

昭和11

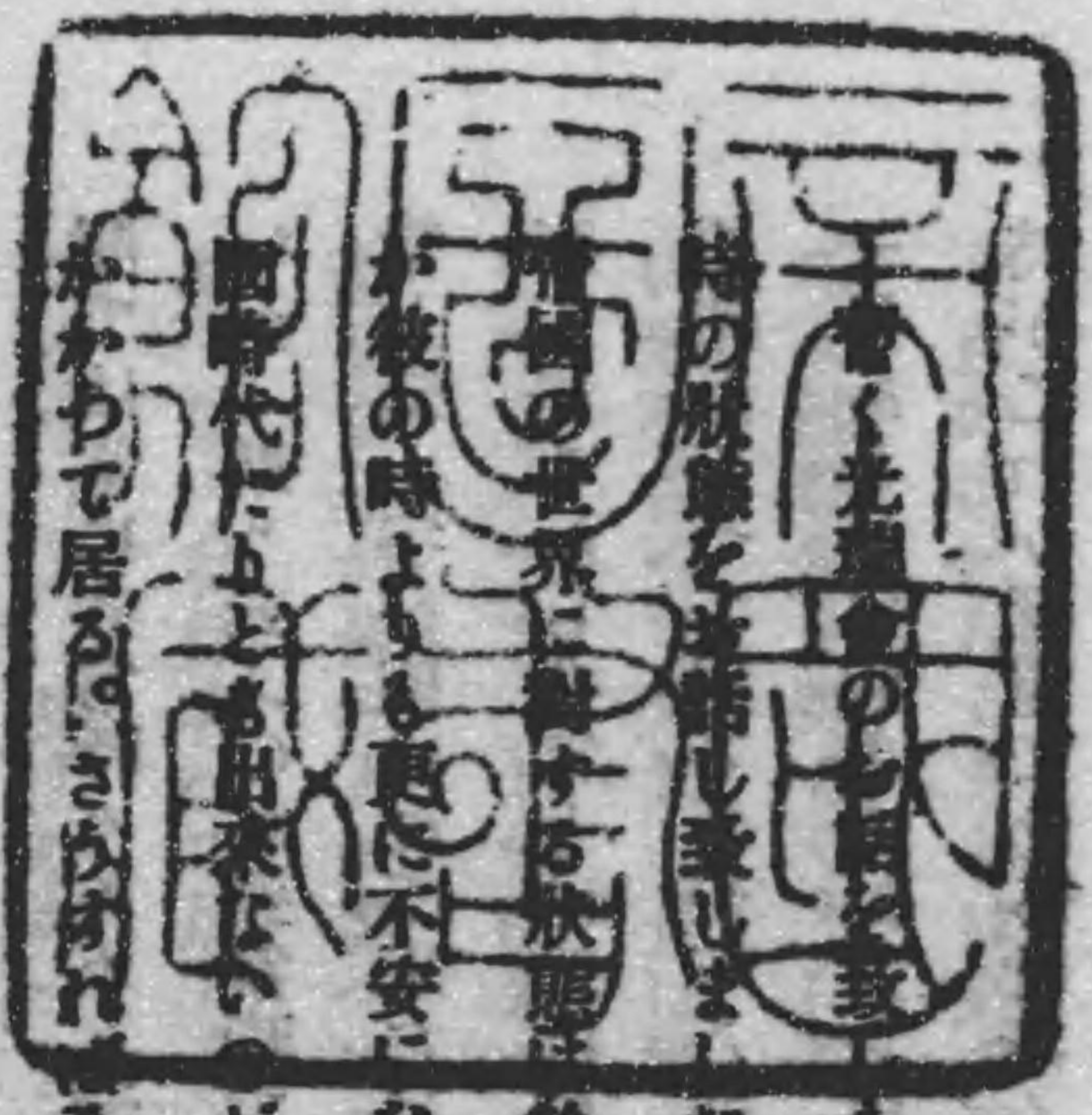
ABJ

245
580

現下の時局に就いて

(昭和十一年五月廿四日
於光瑞會講演會)

大谷光瑞師述



ませんでした。曾て滿洲事變の起つた時に此學校で會員の爲に當
 時の時局を講義しましたが、あれから今日まで多少の時間を経て居りますが、依然我が
 帝國の世界に對する状態は餘りに緩和せられたものでございませぬ。是は言換へれば、世界
 が彼の時よりも更に不安になつて來て延いて我が帝國も單り安穩と云ふ譯に行かない。昔の鎖
 國時代よりも出来な
 が、今日の如く世界の三大強國の一となれば其接觸面は全地球面に
 全地球が不安である場合に單り我が帝國が平穩といふことは考へ得
 られない。寧ろ彼の當時よりも今日の方がより複雑になつて來た。何となれば彼の當時は世界
 の方がまた稍平穩でありましたが、今日では我が帝國の方が平穩に向ひましたが、世界の方は



より不安になつて来た。寧ろ彼の當時よりも全般から云へば少しくだちが悪くなつて居ります。再び此處で會員諸君の爲に現下の時局を私が申上げなければならぬ状態になつて来た。世間では常に非常時々々々云ふことを云はれますが、もう私は非常時と考へない。何故考へないか、斯う云ふのが通常時である。滿洲事變時分はまだあれでも今までと異つて居つたから非常と云ふ字が使はれて来たけれども、もう今日に於てはあれより約三年の間彼の状態を續けて来て居るから非常とは云はれない。斯の如く困難なることが通常である。では昔のやうに本平樂を云つて居るのが寧ろ非常になつて来た。さう云ふことは有り得べからざるものでたまに三月あまたの時期あるが、さう云ふ時期があつたらそれが即ち非常であり、今日の如き時がこれが通常である。斯くの如く私は考へて居る。此處に御出での貴方方の平均年齢が幾らになるか、精密な統計を取らんければ分りませぬけれども、やつとお顔を見た所で先づ四十前後と云ふ所が平均年齢の如く私は見ます。四十前後の人が今まで受けて居つたのが皆割合に樂であつたから今日が非常時であると思つて居られるかも知れんが、それは大變な間違ひで、もう此位なことでは済めばまだ餘程結構なんぢやなからうか。私はまだもう少し強い困難に出會はし

て来るんぢやなからうか、と思つて居りますが、自分はまた是の三倍四倍の困難は當然のことと覺悟して居ります。又日本帝國の力はそれ位ひな困難で閉口されるものぢやありません。十分それに耐え得る力を持つて居りますから寧ろ進歩に伴つて強くなつても弱くはならぬ、と斯う私は思つて居ります。それはどう云ふ譯か。總てのものが速力を以て進んで行く場合には、その抵抗なるものは必ず強いものに決つて居る。最近には汽車の如き或は電車の如きに至つても流線型を採るやうになつて居る。あれは成べく速力を速めるに付いて抵抗を減するから彼の形を採つて来た。是は速力を速めれば抵抗が強くなるのは當り前。我が帝國が強い國力を有つて居つてさうして而もそれが世界の進歩に先立つて行けばそれ位の抵抗のあるのは當り前、若しも是が昔の人が考へてゐる如く平穩状態で行くものなら此帝國は衰亡に向はなければならぬ。斯う私は考へて居ります。帝國が益々強くなればなる程抵抗は増して来る。それは流線型であらうと、馬力を増すだらうと、それは問題は別として、兎に角此抵抗に十分打勝つて行くだけの吾々は自信があり、又必ずさうあるべきものである。斯う考へて居ります。

現下の時局の上で第一に申上げなければならぬのは各國の状態である。日々の新聞が完全に

報道をして呉れますししてくれますけれども、殊に京都の會員に申上げねばならぬのは、京都の會員は往年以來鎖國の風習が退かない。それですから外國のことと云へば、何吾々の方には關係がない、斯う云ふやうな頭で比較的軽く見て居られる。が一度び是が織物であるとか染物であるとか乃至陶磁器であるとか京都の工藝にでも何か關係して來た場合には直ぐ眼と耳とを聳てますけれども、外國の事の場合には、まあ外國ぢやないか、と思つて居る方が多い。此會員の中でも多くの方は恐らくさうぢやなからうかと思ふ。それが非常な危険、昔はそれで宜かつたかも知れぬが今日はそれでは行けぬ。自國のことよりも外國のことを先に考へて來なければならぬ。一例を申上げれば、京都の人は家の中に這入つたやうなもので、家の中に這入つて居れば晴天であらうと雨天であらうと構はない、が一度び外に出る時は雨が降る降らんは大變な違ひがある。天候は雨であるか晴であるか、といふことを一番に考へてそれから家の中に這入つて居らぬといかん。それも家の中に這入つて居る位なら宜しいけれども椽の下穴藏に這入つて居るやうな考へで居られるから非常時に見えて來る。どうせ雨も降りませう、風も吹きませう。それぢやから一番に之を考へて來なければならぬ。それで私は今日は主として世界の

大勢を申上げなければならぬ。

第一に申上げるのはヨーロッパ。どうも今日までの文明はヨーロッパから發達をして居る。それからヨーロッパが力が強い。それでどうしても向ふに色々の禍亂が起り不安が起ればそれが延いて全部に及んで來る。是はもう免れませぬ。吾々は何を注意して見なければならぬのかと云ふと、一番にヨーロッパの動きといふものを見て居らなければならぬ。即ち天氣の上で云へば京都市の上の天候を左右するのは何時も支那東海に在る。支那東海の天候が吾々の天候を左右して居る。で、私共のやうに氣象を専門にやつて居るものは先づ何を注意するか。支那東海には今どう云ふ風が吹いて居る、どう云ふ天氣である、之を一番に氣をつける。これさへ氣をつけて居れば九十五パーセント間違ひは起らぬです。日本の現下の時局に對してもヨーロッパの形勢さへはつきり見て居れば殆んど誤らさじて波を乗切ることが出來ますが、これを知らなかつたら酷い目に遭ひます。今日は主としてヨーロッパの形勢を申上げます。

全體この歐洲戦争の後の状態はもう説明を申上げぬでも貴方方はお分りになつて居る筈です。それから今度は國際聯盟と云ふものを作つた。是は甚だ不都合千萬なものであつた。けれ

どもまの若干の時間はそれで維持して来て居つた。何で維持して来て居つたか。みんなが疲れて居つたからです。所が滿洲事變に對して彼等は我が帝國に向つて不當な抑壓を加へ、我が帝國は驟然之を賦つて國際聯盟を脱退した。此脱退の時も我が國民の中には多少憂慮した人もあつたやうでございました。それで私は其時に更に憂慮するものでない、國際聯盟なんて云ふものは幽霊のやうなものだ。あんなものは驚くに足らぬ。何にも知らぬものは幽霊が出るとこわがるかも知れぬけれども、吾々はそんなものはこわがらぬ。日本が退いてしまへば國際聯盟は必す瓦解するといふことを申上げて置いた。是はこの會員の方も御存知の筈です。現に今日國際聯盟は瓦解して居ります。日本位ひの強國に退かれたらあの聯盟は持ちませぬから、それで國際聯盟は日本が脱退すると共にドイツが次に脱退をする。今當にイタリアが脱退せんとして居ります。小さい國もぼつぼつ御免を蒙りかけて居ります。中米諸國もグワテマラの如き亦御免を蒙つた。是はもう瓦解に決つたもんです。さうなると今まで此聯盟に依つて歐洲の力を維持して居つた奴が今度は維持しかねる。最近御存知の通りイタリアとエチオピアの間に紛擾が起つた。何故エチオピアに對してイタリアがそこまでやらなきやならぬか。地圖の上で説明し

ますと、斯うエチオピアはイタリア領のエリトリアとソマリーランドとの間に遣入つて居る。イタリアとしては之(エリトリア)と之(ソマリーランド)との聯絡上どうしても之(エチオピア)を取らなければならぬ利目になつて居る。それでエチオピアに向つて斷然兵力を加へたのです。昨年來相當苦心をしたけれども、結局之を併合することが出来た。今のイタリアの國境は斯う云ふ形になつて居る。是(英領ソマリーランド)がイギリス領で是(佛領ソマリーランド)がフランス領ですから此處だけ除いて居る。所が是だけでイタリアがしまふかどうかと云ふことは甚だ疑問で、私共は恐らくは是はイタリアのアフリカに伸びる所の前哨戦に過ぎぬものと斯う見て居る。昨年の夏エチオピア事件が起つて来た時から、あれは一つの口實に過ぎぬものだ。何の必要でイタリアがあいふことをしなければならぬか。イタリアと云ふ國は洵に人間の多いことは我が帝國に似て居りますが、物資の乏しいことは我が帝國位ひのものでありませぬ。我が帝國の半分と云ひたいけれども半分も一寸怪しい位ひな物資の乏しい國です。それで何とかどこかへ出なければならぬのですが一向出るところがない。ムツソリーニも屢々それにな對して骨折つたけれども、どうもよい結果が得られない。已むを得ず斯う云ふ所を担はん

らぬことになつた。是は甚だつまらぬ所で、みんな戴いても一向感心せぬ所です。併しながら是は口實で次に狙ふ所は此處(英領スダン)にある。是も沙漠が九割五分の所で餘り感心せぬ所です。是(トリポリ)は元來イタリーの領分です。それで之(ツマリーランド)と之(エチオピア)とをくつ付けて之(英領スダン)を抜かうといふのですから、本當にイタリーの狙うて居るのは之(英領スダン)と此處(英領スダンの附近一帯)です。此處(アフリカの地圖を指す)から斯う云ふ形に出ようといふのがイタリーの本當の考へ、これが最後に考へて居る所と私は見て居る。この目的をムツソリーニが貫徹し得るや否やといふことは是は分りませぬ。周圍の状況がどう云ふ工合になるか、或は又自國の國力がどういふ工合になるか、是は分りませぬけれども希望點はそこに在るものと私は信じて居る。所がこの圓い點がカルツームで、是はイギリスが死んでも離さぬと云ふ所です。それから是がケニヤの植民地でもイギリスが死んでも離さぬ所、是はドイツ領から取つた所でありませぬ、初めからのイギリス領です。是(スダン)も初めからのイギリス領です。だからイタリーがこの希望を捨てれば兎に角捨てなければどうしても勢ひイギリスとの強い衝突を起さなければならぬ破目になつて居る。兵力に依る衝突をするか、兵

力に依らずして之を解決するかそれは分りませぬ。是が英國が貧乏國でイタリーが金持國だつたら金で買ふといふこともあるか知れぬが、イタリーが貧乏でイギリスの方は金を有つて居るから金で買へませぬ。勢ひ撲り合ひよりは仕方あるまい。(笑聲)所が撲り合ひとなると現在に於てはイタリーの力が弱くイギリスの方が強い。それですから是で當分はちよつと撲り合ひにはなりません。併しながら茲に斯う云ふことがある。イタリーの力は一つのものでありイギリスの力は幾つにも分れて居る。茲がムツソリーニの狙ひ所で、十のものと百のものとなら十倍に違ひないけれども、百のものが二十に割れて居る時には一つのは五にしかならぬ。斯う云ふことになる。況んやイタリーの力とイギリスの力は十と百ではない。先づ私が見ました所で十と三十でござんせう。總ての國力、敢て陸海軍ばかりではない、何も彼も計算して十と三十の力を有つて居ると思つて居ります。三倍の力のものをどうやるか。五つに割れた時には六になる、イタリーの力は一つですけれども是は割れませぬ。さうすれば六つと十となればイタリーに四つの勝目がある。若しもイギリスの力が三つに割れた時には五分々々になる、茲が狙ひ所。さうなると勢ひ歐洲に幾多の外交上の紛争が起りますが、その紛争のある機會を捉

へてイギリスの力がみな固まつて居るの時を狙ふより仕方ない。それが五つに割れるか十に割れるか六つに割れるか、イタリーに一番有利な機会を狙ふ。一番有利な機会を狙ふにはどうしても之(レッドシー)を抑えて置かねと狙えない。此處へイタリーが兵力を集めてさへ置けば其有利な機会には何時でもどうにでもなる。もう一つ、この圖で申すとイタリーの國はかう云ふ恰好に出来て居る。茲(マルタ島)に小さい白い點が見えますが、是がイギリスの領分でマルタと云ふ島です。この島でイギリスが地中海を抑えて居る。地中海の兩端にジブラルタルとスエズの運河、この中間がマルタの島でイギリスが抑えて居る。このマルタの島を若しもイギリスが離した場合にはジブラルタルとスエズの運河とはちぎれてしまふ。所がこのマルタの島は御覽の通りイタリーのシシリーから極く僅かな距離しかない。飛行機が飛べば一時間かそこらで到着する距離にある。イタリーの飛行機と云ふものは相當以上に優秀な飛行機を有つて居る。イギリスの飛行機も優秀でないことはないけれども、マルタの島にはさう澤山の飛行機を置くことも出来なければ飛ばす譯にも行かない。さうすると地中海に於ての力は、このマルタの島とイタリー領と考へて見ると反對になつて居る。イタリーの力が十であつてイギリスの力は三

しかない。斯う云ふことになつて居る。是がイギリスの非常に恐れる所。それであの戦争の起らんとする最初の時にイギリスは地中海に相當強い海軍力を集めた。集めてイタリーが恐れるかと云ふと更に恐れ入らぬ。やるならやれ、二十四時間でマルタの島はなくなる、とまで云つた。それまでやつたけれどもイギリスはもう一つ腰をピンと立てることが出来なかつた。それから今度は經濟封鎖をやらう、この經濟封鎖ももう一つイギリスの腰がピンと来なかつた。それは何故かと云ふと、此島を場合に依れば取られなくちやならぬ。それは成程懸念談判の時にはどうなるか知らぬけれども少くも一月か二月か、乃至三年か十年か知らぬ、若干時間はマルタの島を放らなければならぬ。是がイギリスに對して非常な苦痛です。

だからどうもやりさうでやらぬ。やりさうでやらぬといふのはそこに弱點がある。何とかしてフランスやその他の力を手つたはしてイタリーに制裁をしようとしたがそれが成立たぬ。何故成立たぬか。此處がフランスの國境ですが、是が物腰でどうもならぬ。實際私はこの國境の所を鐵道で走つて居りますが、アルプスの山が非常に險阻な所で連も大軍を動かすことは出来ぬ所です。大軍を動かすことは出来ぬ所だけでも全然来ないとは云はれない、来るかも知れぬ。

そこへもう一つ恐ろしいことは、フランスに取つてはドイツの復興である。ヒットラとムツソリーニは必ずしも握手はして居らぬ。握手はして居らぬが現状を打破しなければならぬと云ふ點については考へは同じなんだ。どちらかと云へばヒットラの方はムツソリーニに喧嘩を英佛にふっかけさせて置いて其機に乗じて自分の所へ行かうといふ、それがヒットラの考へ。所がムツソリーニの方はそれは詰らぬ役やからヒットラにやらして俺の方が行かうと云ふ。(笑聲) 両方からそれを云つて居るからこの腰がはつきり立たない。腰がはつきり立たないもんだからヨーロッパの平和がまだ維持されてゐる形式を有つて居る。内情は維持されて居りませぬけれどもその形式を有つて居る。是が本當に握手して山分けするやうな氣になれば破れますけれども、両方が四分六とか七三に行かうと一緒に行かぬから辛うじてこの平穩を維持して居る。それで萬一佛伊が争うて此處へイタリが大軍を寄せて、フランスがその力を此處に寄せるならば直ぐ是から降りようとするドイツ、それからイギリスが地中海に大艦隊を寄せれば此處へ出やうと今して居る。斯う云ふ羽目になつて居る。握手はして居らぬが、するい奴の睨み合ひ取合ひであるけれども、兎に角英佛の方が受身になつて獨伊の方が攻勢を取つて居る。歐洲の狀

態は英佛は必ずしもこれが握手してゐるかといへば決してさうでない。英佛は握手して居らぬ、是は利害が違ふ。何となればフランスが滅亡してしまへば唇亡びて齒寒し、イギリスもこたへるけれども、フランスが滅亡するまでは謂はばよその國のことである。イギリスにして見たらばそれよりは自分の國へ眞直に被つて来るドイツ飛行機の襲撃の方がこわい。此前にツェツペリンで散々脅かされて居る。又ぞろツェツペリンでやられたら困るものだから何とかしてドイツの方には成べく強く當らぬやうにしやう。

其點になるとイタリイに對するよりまだドイツに對しては割合に甘い政策を執る。何となればマルタは大事な島ではあるけれども根が自分の領土、ロンドンには領分でない、本國である。自分の頭の上を撲る。成程足指も身體であるから切るのは痛いけれども腦天を撲られるよりは辛抱が出来る。ドイツを酷く壓迫した時にはどう云ふことをやるか分らぬ。先づ此方を緩和しよう。是がイギリスの現在の考へ。そこでドイツの海軍復興等に對しても割合に英國は寛大な考へを有つて居る。私共は實は之に對して少しく意外であつた。元々歐洲戦争の元といふものはフランスとの衝突に非ずしてイギリスとドイツとの衝突であつて、フランスは寧ろお添物であつた。

それが陸續であるが故に。又ナポレオン三世の時の復讐戦であるが故に。此二つの理由でフランスが正面の役者に立ちましたけれども、動機から見ての點から云へば英獨の衝突の方が正面であつた。それを復も繰返すやうなドイツ海軍の復興をイギリスが若干たりとも許すといふことは甚だ其意を得ぬ。是は徹底して拒まなければならぬ。フランスがドイツの陸軍の復興を拒むが如くイギリスは海軍の復興を拒まなければならぬと私は思つて居つた。所が豈圖らんや或る程度までは之を許容した。恐らく之を許容しなければならぬまでの苦しい所が大分にあつたんでなからうかと私は思ひます。其苦しいのには幾多複雑な原因があつて簡單な原因を以て之を云ふ譯にはいきませぬけれども、兎に角イギリスの国力の中に非常な苦しい所があり、其苦しさは急性の病氣に非ずして私は恐らく是は慢性の病氣と見て居る。どう云ふ慢性かといふに、慢性の胃腸が痛んで居るとか、慢性の肺結核の後が悪いとか、若い人の肺結核なら死んでしまふけれども、年寄の肺結核は死にはさせぬけれども身體が衰弱する、斯う云ふやうな意味のものではなからうかと私は思つて居ります。一つの原因は明白に分りますけれども決して一つの原因ぢやありません。そこで或る程度まではドイツの方を寛大にして鋒先をイギリスの

方へ向けさせまい。それにはイタリーとの關係もある。地中海でイタリーにせむられて、又ノース・シーでドイツにやられちやイギリスはたまらぬ。其上まだこわいのはイギリスは東洋に於ては我が帝國を敵對の位置に置かなければならぬ。さうするとドイツとイタリーと日本とこの三つを敵對の位置に置いてはイギリスの力は立切れませぬから、だから、まあ、ドイツだけは辛抱しよう、斯う云ふ意味ぢやなからうかと私は思ひます。所が之を辛抱すればドイツは海軍力を増して来る、海軍力を増して来てその後がどうなるか。ドイツの海に面してゐる所は極めて狭い。西にはオランダが来て居り、北はデンマークが来て居る。ドイツの海面と云ふものは極めて僅かしかない。日本で云へば臺灣の海面程しかない。臺灣の海面もその片面積位よりない、甚だ狭い海面なんだ。そこへあれだけの海軍ならば日本のやうな海面から考へたら日本はあれの十五倍位みの海軍を持つてもまだ足りない位ひドイツの海軍力は海面に對して優勢な海軍なんです。之をどこへ持つて行くか、此海軍の持つて行き所を考へなければならぬ。どこへ持つて来る、かしこへ持つて来る。此のあたり全面に持つて来ることは火を親るより炳か。イギリスは非常な危険だ、許しは許したけれども、許して置いて、やらんと置いて呉れ。まあ俺の所

へ來ぬと置いて呉れ。此手で行かうと云ふ。甚だ危険千萬な手だけれどもそれより手がなかつたでせう。それからイタリーの方は我が帝國の海面よりは狭いですけれども相當大きな海面を有つて居りますが、この海軍力は弱い。あんまり強い海軍力ちやありません。併し地中海に於てはフランスの海軍力と比べて少しく劣つて居る位の海軍力。フランスの海軍力はこつち(地中海)とこち(大西洋)に二分されて居る。必要な折には之を斯う廻はして來なければならぬ。丁度アメリカの海軍力が太平洋と大西洋とに分れて居るやうに、フランスの海軍力も洵に其點になると不利益な立場に在る。全部を集中すればイタリーの海軍力の二倍とは云へませぬけれどもまあ二倍に近い位ひのものはあります。ありますけれども二分されて居りますから上手に使うて七割五分にしか廻らない。それでイギリスと妥協して置いて、こち(大西洋)の方の手をすつかり抜いてこつち(地中海)へ持つて行かうと云ふ譯です。フランスのまた痛手は之(アルジェリア)がフランスの領分です。この領分は日本に於ては朝鮮であるとか臺灣であるやうな切つても切れぬ場所なんです。植民地でも何でもない、本國同様の所。それを切られれば直ぐ此場所(サルディニア島)にイタリーが來る。此處に(コルシカ島、サルディニア島)二つある

島の中、之(コルシカ島)はフランス領ですが、之(サルディニア島)はイタリー領です。このサルディニアから此の間を自由に切られる。之(モロッコ)は自國の領土でないからフランスはどうすることも出来ない。フランスにして見れば之(フランス本國)と之(アルジェリア、チュニス)との間を之(サルディニア、シシリー)で切られるから相對の強い海軍力を持つて居つても其海軍力の活動は甚だ弱い。僅かなイタリーの潛航艇のためにこの聯絡が切られる、是がフランスの備み。だからドイツに對してはフランスは強い顔をするけれどもイタリーに對しては非常に弱い顔をしなければならぬ。何とかしてイタリーの好むやうにしてあまり感情を害さぬやうに行かなければならぬ。イギリスの方はイタリーには強い顔をするけれどもドイツがこわいから此の方は成るべく弱い顔をする。さうするとドイツの側はイギリスを壓迫し、イタリーはフランスを壓迫するもんだからどうしても英佛の足並が揃はない、兩方から勝手氣儘をいはれてもはいくと云はなければならぬ、斯う云ふ今の状態です。

そこでイタリーが其機會をどう云ふ工合に狙ひ、アフリカに於てムツソリーニが考へて居ることをどう云ふ工合にやつて來るか。恐らくは向ふ五ヶ年間に於て是が最も注意すべき動きだ

らうと私は思つて居ります。そこでフランスもイギリスも両方が破天荒の智慧を出したのは何か。ソヴェットを引張るといふことになつた。

何故ソヴェットを引張つたか。此點になればイギリスもフランスもイタリアに對してはソヴェットを引張つても何の足しにもならぬが、ドイツに對しては非常な働きをしてくれる。ドイツの領分が此處(東プロイセン)に在つて、之と此の間にポーランドが這入つて居りますけれども、之(東プロイセン)に對して力が這入つて來るとドイツはどうしても東の方に向かなければならぬ、西ばかり向いて居れない。現に歐洲大戰の折にも、フランスのバリーを今一息といふ時に兵を回さなくてはならなかつたのは何であるか。ロシアの兵がプロイセンの國境の中に這入つて來た。是が重大なる理由である。それから此の間亡くなりましたヒンデンブルグがタンネンベルヒの戦ひにロシアの軍をもう徹底してこわしてしまつた。それで漸くドイツの國はロシアのためにやられなかつたけれどもフランスの方は到頭成績が悪かつた。マルヌの戦ひに負けなければならぬやうになつたのも是が原因、さうすれば是は同じことだ。そこで戦争後にこのポーランドと云ふものを拵へてさうしてフランスは之を同盟國にしてドイツの東の方を

詰めた。詰めたは宜かつたがそれが十幾年の時間を經つた後にポーランドはもうフランスを見捨て、しまつた、是はポーランドもフランスに食つ付いて居つても餘り面白いことはない。ドイツがフランスの方に戦うてくれ、は宜いけれどもフランスの方に向はぬと俺の方に向いたら洵に迷惑だ。ポーランドにはドイツ人が仰山居る。ドイツの兵が來るのはよいが内亂でも起されたらどこにも尻の持つて行き所がない。甚だ迷惑千萬だ。ピルスツスキといふ、今は亡くなりましたが、前の大統領がそこで親獨政策を執つた。ピルスツスキの親獨政策と云ふものが三年程前に現はれて來た時に、私共は洵に是は意外な政策と思つた。だが、ポーランドの身になつて考へて見るとどうも是より手がなかつたんでありませう。で、フランスは大變失望をしてその失望の次に怨嗟の聲に變つた。恩知らず奴といふ譯で大變怒つた。怒つたけれども仕方がない、其中ピルスツスキ大統領が亡くなつて其の後を何と云ふ人ですか、宙で名前は憶えませぬが、ピルスツスキ程親獨政策は執らぬが併し排獨政策も決して執つて居らぬ。まあ不即不離位ひな状態で、萬一ドイツがポーランドの方へ這入つて來てロシアと事件を起す場合には寧ろポーランドはドイツの味方をするのぢやなからうかと私共は思つて居ります。

又ポーランドとロシアとの間は是はどうしても一緒になることは出来ない。恨み骨髄に徹して居るので、ドイツがロシアに對して敵對行爲を執る時にはポーランドがドイツに食つ付くのはもう理の當然で、フランスにドイツが行つた時にはどうなるか分らぬが、ロシアに行つた時にはポーランドは必ずドイツの味方をするに違ひありませぬから、それらが東の方に於ての大なる動きぢやなからうかと思つて居ります。

そこで逆に英佛はソヴィエットを引張つてドイツの東の方の裏詰めに使つた。そこへどう云ふことが起つたか。ヒットラーの今のナチスの政府はユダヤ人の大排斥をやつた。此排斥は頗る極端なものであつて、その爲めにユダヤ人が非常に恨んだ。往年秀吉、徳川の時分に日本が耶蘇教徒に迫害を加へた位の迫害を加へた。宗門闘争に近い所位ひに迫害してユダヤ人を放逐した。所が今のソヴィエットロシアの幹部の大部分にはユダヤ人が遣入つて居るから、是は怪しからぬ、といふので大層憤慨をした。尤もソヴィエットも全部ユダヤ人ぢやありません。日本に於て傳へられて居るのは共產主義はユダヤ人がしたことぢやないかと云ひますけれども、是は大變な考へ違ひでユダヤ人に反對して居る者も居りますからそれとこれとは別問題です。け

れどもユダヤ人が遣入つて居ることは事實だ。是は怪しからぬことをしあがる。それで宜い道具が出来た、洵に便利の宜い口實が出来た。之を引張つてドイツに壓迫を東の方から加へさせやう、斯う云ふのがフランスの考へである。そこへフランスの方には昔から親露政策、排露政策の二つがありまして、主として資本關係の方が排露政策を執り労働關係の方が親露政策を執つて居る。世界的に斯う云ふ傾向がありますけれどもフランスにもそれがありまして、フランスの方には今まで全體排露政策であつた。併し最近はずつかり變つてドイツがこわきに親露政策を執るやうになつて來た。所が英國の方はそれよりもどちらかと云へば日本の牽制にも之を使はうぢやないか、斯う云ふ兩方の考へを持つて居るらしい。ドイツの抑えばかりではない、日本の牽制にもこのソヴィエットを使つて見たらどうであらうか、是がイギリスがソヴィエットと食つ付いた一つの原因。イギリスは絶対傳統的に絶対ソヴィエットと喰つ付くことは出来ぬ國なんです。是は印度の問題のみならず總ての點に政治上の意見も主義も國教の上からもうしても喰つ付くことは出来ぬ國柄なんです。それが喰つ付いたのは何故かと云へば、若干我が帝國を牽制しよう、斯う云ふ點もあるんぢやないかと私は思ひます。併しそれは何れの點であ

らうと、英佛が親露策を執つた、是が昨年の下半期から出来た顯著な現はれです。是でまあ辛うじてバランスを取つたらしい。此間フランスの議會の總選舉が行はれた結果に依つて見ますと親露政策はもう少し露骨になつて來やすまいかと思ひます。フランスといふ國は餘り議會の解散といふことのない國です。先づ是にて當分行くんぢやなからうか。さうすれば親露政策を續ける、斯う見なければならぬ。是が善いことであるか悪いことであるか、是は吾々外國人が何等それに對して批評する必要はありません。

よく日本の新聞などを見ても善いとか悪いとか、よその國のことを批評する人がありますが飛んだ間違ひで、私は決して批評しませぬ。何にも役に立たぬ話でそれは。決して批評しませぬ。現實がどうなつて居るといふことだけ知つて居つたらそれで宜いので、善いと言つて譽めてあげたからとて倍にする譯はなく悪いと云つて謗つたつて半分にする譯はないから批評するのは要らぬこと私は決して批評しませぬ。唯事實がさう云ふ事になつて居るといふことを知つたらそれで宜しい。

そこでドイツの希望は何處に在るか。今まではイタリーを中心にして英佛の動きを申しまし

たが、今度はドイツを中心にして申上げると何所に在るか。

ドイツのは植民地を取られたのが洵に残念である。何とかしてあの植民地を取返さなければドイツの國は經濟上に破綻を起すそれで之を取返さう、斯う云ふのがドイツの希望の如く考へられますけれども、私は是は百パーセントの希望とは思はない、五十パーセント以下のもの。もつと強い希望があります、其希望は何かと云へば之(オーストリア、ハンガリア、チエツク、ポーランド、バルカン即ち中部ヨーロッパ)をみんな一緒にしよう、是が百パーセントの希望、之を一緒にしようといふことになるかと話が露骨でいかぬ。隣の地面を買はうと云へば其隣りの人が賣らんと云ふか、嫌だと言ふか、買はうなら宜いけれども横領してふんだくらう、といふのだから是は成程折合ひますまい。それよりはお前の有つて居る別荘を賣らんかといふ方が話がし易いから別荘論をして居るのです。別荘論がどうでも宜い、私はこれが本當の問題と思つて居る。そこに二つの障礙がある一つはこのオーストリアの合併、一つはこのルーマニアを分捕る件です。オーストリアといふ國は、昔の頃は西ローマのつゞけて以來からはドイツ帝國であります、今から百年程前からドイツと離れてしまつて、オーストリアの國が出来た。

それが又こないだの戦争で互壞してしまつた。洵にやゝこしい國です。結局オーストリアの領分と云ふものは非常に狭いもので正味使へるのは北部少し、南部は何にも使はれぬ所で、洵に是は弱い國です。オーストリアの中にも二つの強い派があつて、一つはドイツに反對する方、一つはドイツにくつつかうといふ方、この二派が今鎗を削つてやつて居りますが、どつちが勝つか敗けるか、是は吾々には關係がない。ドイツにくつつかうといふ奴は勿論ヒットラーを崇拜して居り、ドイツに反對しようといふのはムツソリーニを崇拜して居る。要する所、ヒットラーの力とムツソリーニの力が如何に消長するか、之を我々は見て行かなければならぬ。オーストリアをドイツが合併するか否かといふ問題でなくて、そのもう一つ後ろに在る御本尊の動きさへ見て居つたら宜い。ムツソリーニの力が強かつたら長くドイツにくつつきますまい。ヒットラーの力が強くなつたら立所にドイツにくつつく、ムツソリーニも或る場合にはよその國のことであるから何等かの交換條件に依つてはヒットラーに譲るかも知れぬ、が今は譲らぬ、根が人の國の話だから其點になれば餘程冷淡なことになつて来る、オーストリア人がオーストリアのことを考へて居るのと違ふ。先づ私は七割がドイツにくつつくもので三割が離れるものと、

斯う見て居ります。

それからルーマニア。是が不自然膨脹をやつた國です。元來それだけの實力がなかつた國。ドイツのマッケンゼン元帥に酷く叩きつけられた國であつて、唯ドイツを宥める爲の必要で不自然膨脹をして居るので、自分で自分の國を維持するだけの力の無い國です。なきやないで宜ささうなものですけれども今度はさうはいかぬ。ドイツがハンガリアを通じてトランシルヴァニアを取戻さうとしてゐる。元のハンガリア領ですが、それをこれだけルーマニア領にひつつけた。之をハンガリアは何とかして取戻さうとして居る。トランシルヴァニアといふ所は森林よりない所です。礦物は大分ありますけれども後は森林で大しに所でごさんせぬが、ドイツがこのルーマニアに非常に食指が動いて居るのは此處に持つてゐる石油です。ドブルチアの邊一帶油田です。大體にこの邊にすつとルーマニアの油があります。このルーマニアの油は現在どの位ひ出て居りますか、私は數字をすつかり記憶して居りませんし此處には統計を持つて居りませぬから申上げられませぬが、大體に我が帝國の油の二倍位持つて居ります。ヨーロッパで一番餘計出す所です。之を何とかして頂戴したいと思つて居る。御尤も千萬な話、ドイツの領

分には油は出ぬ。出ぬから石炭に水素を加へて油にする、滿鐵や徳山でやつて居るやうな方法より手はないでせう。日本の方は分量は少ないながらも新潟縣にも秋田縣にも出ます。今臺灣が盛んにやつて居ります。ドイツにはそれもありませぬ。何とかしてルーマニアを手に入れてあの油を取らうといふのも御尤も千萬な話です。それにはドイツがちかきにやる譯には行かぬからポーランドやハンガリアを使はう、斯う云ふ譯なんです。

イタリーの方はユーゴスラヴィア、之を取らう。是は恐らくは向ふ三ヶ年の間に何等かの形式になつて出て来るんぢやなからうかと思つて居ります。是も亦何とも仕様のない餘り感服せぬ所です。礦物は若干あるかも知れぬけれども道路もない山路のごてくした。私はこの邊を通つてよく知つて居りますが、酷い所です酷い所ですが。イタリーとしてはアドリア海の反對側をよその國が持つて居つては便利が悪くてどうもならぬ。丁度往年我が帝國が日本海の反對側に朝鮮があつて、之にロシアがちよつかいをして洵に仕末が悪かつたと同じこと。最近是我が帝國になつてしまつて日本海は助かつて居りますが、今でも日本海の北部にロシアが居りますけれども人間は居らぬ朝鮮時代とは譯が違ひます。冬になれば凍つてしまひます餘り大し

て煩さいことはありませぬが、魚捕りに行つてごてくしたり相當免倒なことはあります。アドリアテイツクはそんな譯には行かない。冬凍るといふこともなく第一幅が違ふ。日本海とは比較にならぬ。言ひ換へたら朝鮮海峡位ひのものです。その向ふに外國があつては成程イタリーとしては迷惑千萬、何とかして國旗は變へないまでも自由に出来るやうにムツソリーニが考へて居るのは當然のことです。さうすると次に起つて来る問題は何か。中央ヨーロッパの地圖の塗變へといふことになる。地圖を塗變へるか、或は塗變へずに手を引き合ふか、それは知りませぬそれは地圖を塗變へて見たつて今日塗つた奴を明日變へるかも知れない、けれども物事には變化と云ふことはあるけれども決定といふことはないからどう變化して来るかそれは分りませぬ兎に角ドイツとイタリーとが中央ヨーロッパに於て如何なることをやるか、斯う云ふことだけは向ふ五ヶ年の間に間違ひのないことです。吾々は刮目して之を見て居る、斯う云ふ譯です。そこで此間の聯盟のイタリー制裁の折でも小國が甚だ騒いだのもそれなんです。大國は兎に角肚も坐つてゐます何とかそこにやりやうがあるけれども、小國になると甚だ難かしい。國際聯盟を唯一の金城鐵壁と心得て居つて、あの防禦の壁の後ろに居つて小國共は息をして居つた

所があつた壁がぼつ／＼亀裂が生じたり砕けたのでなくなつて来たから、さあ待てよ逆も俺の國一つでこたへ切れるもんでないから何とかこいつをこたへて行かなければならぬ。それで小國が騒ぎ出した。小國としたら尤もな話、一番迷惑千萬なのは中央ヨーロッパ、それから此のオランダ、ベルチニウムが不安になる、併し是は小國と云つても前の小國と大分意味が違ひますさう減多なことは出来ませぬけれども、こゝら（中央ヨーロッパ）邊は甚だ怪しい。チエツコ・スロヴァキアなんか非常に困つて居る。元々オーストリアに反對した、今でもドイツとは餘り仲が善くない國、而も四方に海を持つて居らぬ國です。自分の四方の奴が海を詰めてしまつたら物が入りも入りもならぬことになる、洵に迷惑千萬。スイツルのやうな永久中立國ならばイタリーの海岸を自分の港にしますけれども、イタリーの機嫌を害ねてトリエスト、フィウメを詰められたら後は出られぬ。ドイツの御機嫌を損じてハンブルグ、グンツウィヒ、リニウベツク、ブレイメンを詰められたらベルチツク、ノース・シーに出られぬ。之詰められたら北に出られず、南詰められたら南も出られぬ。所が此の國は前にマサリツク以來フランスの御蔭で出来た國ですからフランスに對しては常に忠誠を保つてゐる。が今度フランスに反對した奴に南

北を阻まれてゐるから頗る難局に立つて居る。私はチエツコの將來と云ふものがどう云ふ工合になるか注意して見て居ります。併しチエツコ人といふのは相當力のあるやつです。却々工業に於ては偉い奴です。我が帝國の國民に餘り變らぬ位ひな工業力を有つて居るやつですからさうベシヤンとはいきましますまい。けれどもスロヴァキアの方は大分怪しい。チエツコスロヴァキアと云つて日本では一緒に云ひますけれどもチエツコの方は強いがスロヴァキアの方は少々怪しい。この邊に行きますと吾々の想像して居るやうなものとは違つて人種的反感がある、それから人種の間相違がある。言語が違ふ、もうそれは逆もどうにも斯うにもならぬものですか、昔オーストリアがあつた邊を皆んな一つの帝國にして有つて居つた時分の紙幣は、十二ヶ國語で上に書いてある。十クローネの紙幣なら十クローネでは通らぬ一、二のアラビヤ數字は通るけれども後のごちや／＼した文字は十二ヶ國語で書いてあつた。それ位ひ國語の違つた所ですから成程旨く行きますまい。所がこのチエツコ・スロヴァキアの方はロシア系統の人間、この東部にロシアのスラヴ民族が相當居るんです。勢ひ之を利用するといふことを考へなければならぬ。それらが矢張り英佛が獨伊の尻、主としてドイツの尻をつくの之を

使つた、斯う考へられます。

それから此機に乗じてやり出したのが今度はトルコです。是は戦争の時に此邊（ダーダネルス海峡）は皆取られて居つた。戦争後に今のケマル・パシヤがギリシア軍を追拂うてそれでヨロツバの此處（現在國境）まではトルコ領になつて居る。所が大昔から此海上（ダーダネルス海峡）は非常に喧ましい。昔はロシアの軍艦は此處から出ることはならなかつた。此間のヴェルサイユ條約でこのダーダネルスの此の海上はトルコの軍艦通ること相成らぬ、のみならず砲臺を置くことも相成らぬ、ダーダネルスの武装は相成らぬといふことになつて居つたが、此機逸すべからず、今のイタリーとドイツの爲めにイギリスとフランスが閉口たれた機會を利用してトルコはダーダネルスに砲臺造るが承知してくれと云つて來た。是はもう條約を眞向からビリビリツと破つたことです。日本へ言つて來たら、日本は構ひませぬ、何時なりとも適當な機會に、列國が同意することなら更に異存はございませぬ。我が帝國としては何もダーダネルスに砲臺があらうがなからうが頓着させぬから別段ヨロツバと喧嘩迄してよろしいと云ふ譯はない、トルコと喧嘩してもいけませんから、一向異存ございませぬ、と帝國政府は承知し

て居りますが、外の國は大分問題になる。問題になるのは此處に砲臺がなからうがあらうがそれが問題になるのではなくて。ヴェルサイユ條約を破つたといふことが問題になる。條約なるものは非常な神聖なもので、是は何れの國も締盟國だけは此條約に對しては違背をせぬといふので條約の價値がある。それを勝手氣儘にビリ／＼と吉野紙を破るやうに譯なく破る。このドイツも海軍をすることはならぬといふのを勝手にやる。もつと偉いのはライオンランドでつい此間兵隊を入れぬ、といふやつをどつと黙つて遣入つてしまつた。軍艦は拵へる、ダーダネルスの武装はやる、さあ斯うなつて來たら後はどうなる。後は何でも俺の今まで言つたことは皆出放題、皆やめ／＼と斯う云ふことになる。是ぢや條約といふものは百枚判をしたつて千枚判をしたつて何にもならぬ。是がこわい。ダーダネルスに砲臺拵へたつて拵えぬだつて何でもない同じこと。戦争になつて向ふへ臨時砲臺をやれば物の一月も経てば相當見事な砲臺がつきます。それは問題でないけれどもそれよりも條約を破るといふことが大事な問題です。言換へて見れば借金して居つて借りた方が證文をビリ／＼と破つて返さぬ、貸した方はたまらぬ。（笑聲）帝國の中には裁判所と云ふものがあるけれども國際には裁判所はありません。強い者勝ち、勝手

にやる、それでしまひそれで終ひにどうなりますことやら。其次にはヴェルサイユ條約をやり變へやうぢやないか、と云ふことになつて居る。是が現在の状態です。

是の起つて來ました一番の本は日本の國際聯盟の脱退、言換へれば日本が滿洲國の獨立を承認したのを列國が承認しなかつた罰を彼等が今喰つて居るのです。是はまあ當然のことです。位ひな罰は喰ふんでござんせう。(笑聲)今其罰を喰つて居りますが一寸罰の方が重いやうな私は感じがして居る。今までならば罰位ひで宜しいけれども是から先は罰では済みませぬ、恐らく自分の國の危急存亡にまで來ますから少々罰がきつuitと思つて居ります。が人の批評ですから大して氣毒とは思はぬのです。こつちは滿洲國を承認しやうとしまいとよそのやつは勝手です。凡そ條約に對して日本位ひ今日まで能く條約を信用をし信頼をして服従して來た國は世界中にないのです。其點は世界に於て唯一無二です。日本が一度び條約と云ふものを結んだ以上は決して背いたこととは今日までありませぬ。現にロンドン條約の如きあんなものビリ／＼破つてしまへば宜いと思つて居つたが却々ビリ／＼破らぬ。數回やつて唯今の海軍大臣が漸く此間ロンドン、ワシ

トン兩條約を破つて來ました。あの破つて來たのでも實に禮を盡し丁寧千萬、あんなにまでせぬでもないのやないかと思ふ程丁寧にやつて漸く破つた。(笑聲)それでもまだ本年の十二月三十一日まではあれが効力があるんだからそれまでの間はあの條約を尊重してやるといふことになつて居る。イギリスの方は言ひ出しの御本人は尊重しませぬ、驅逐艦こわす等のをこわさぬ巡洋艦も四萬噸を過ぎる、どうやら向ふさんの方が破つて來て居る。こつちの方は阿呆正直に大分やつて居る、阿呆正直と言つては悪いけれども正直に守つて居る。世界中に此位ひ正直に條約を守る國はないのです。ヨーロッパの各國は決してそんなことはして居りませぬ。ビリ／＼破つていきよる、是ではどうなるやら分らぬ、斯う云ふ有様です。

それから今度は少しアジアの方を申上げるが、此の方は割合に天下泰平です。何にも異常がありません。唯異常のあるのは此の支那だけです。けれども是は年中行事です。(笑聲)是が治まつてゐると云ふことはないのや、あれが若しも治まつたら本當の異常時や。(笑聲)さう云ふことはありませぬ。此國は戰亂のあるのが普通なんで、貴方は支那の歴史をお讀みになつてゐる方が少ないから、それで此頃亂れて居ると思つてござるかも、知れぬけれども孔子聖人の

生れた時分から今日まで二千幾百年の間に戦を國內でしなかつたといふ年は五十年間ありませぬ、五十年に跨がつて戦をせなかつたといふことはありませぬ。餘程長くても三十年位ひのもの、五十年越えて兵を用ひなんだといふことはないのです。必ず何處かやつて居る。それですから私はあれが若しも治まつたらそれは非常時ぢやと申上げる。二千五百年間を通じてさういふやうに歴史がいつて居るのです。是の治まるといふことはありませぬ。支那が治まつたら何ていふことを考へになるのはそれは大變な料見違ひで、それは鴨川の水がから／＼になることあるかも知れぬ、大水が出るといふことがあるから／＼になることもあるかも知れぬが、支那が治まるといふことは絶対にありませぬ。それが若しもあつたら今日まで書いてある歴史が間違つて居る。それは所謂非常時、二年や三年さう云ふやうな間違つた時が出て来るかも知れぬが、まあ私共是から後どの位ひ長生きするか知らんけれども三百年四百年位ひも生きて居つたら三年位ひさう云ふことがあるかも知れぬ。貴方方はお氣の毒ですけれども拜見した所随分お若い方もあるんですが、まあ御壽命の中にはありますまい。(笑聲)餘程旨い物食つて三百年位ひ生きて居られたら三年位ひあるかも知れぬが、お見受けした所三百年生きら

れる方は一人もあるまいから、さうすると恐らく御存命の中に支那が治まるといふことはありますまい。是は年中行事だからこんなものゝ亂れて居るのを止めてと云ふやつがあるなら、世の中の大馬鹿京都驛に乗降りするものが一人もないやうになつた時にさういふことがあるんでござんせう。それでさう云ふものを考へて吾々は申しませぬ。是は云はぬと置きます。言ふやつは馬鹿。唯現下はこの河北に昨年の末から少しく變化を起して來た。是は何であるかと云ふと河北が支那の國內に於て内政上の獨立をした。内政上の獨立といふのはどう云ふことか。國は中華民國やけれども蒋介石のいふことは聞かぬのや、斯う云ふやつです。南京政府の命令は私は聞きませぬ、冀察政權といふものを別に樹て、自分は自分でやります、斯う云ふやつです所が河北だけで冀察政權を樹て、宗哲元が大将となつてやつたが、今度は天津と北京及び太沽まで繋いでゐる鐵道線路この線から北の方のやつは宗哲元の下になど俺はつくのは御免蒙る、と又冀東政府といふものを發明した。これらは發明ですから何時でも發明出來ますが、別段特許局へ出願せいで、是は差支へないから、さつさと發明します。是には殷汝耕といふ人が委員長になつて居ります。殷汝耕といふ人間は私は極く懇意にして居つて、此頃は會ひませぬが、

前からよく知つて居ります。日本語を上手にしやべり、日本人を奥さんにして居る人です。是は冀察政權にもつかぬ、冀東政府は別ちやといふ。追々斯う云ふことに支那全土はなるんぢやなからうかと私は思ひます。

それは自分の便宜上一つの國家を樹て、南京政府に取られるだけの金を取られずと、自分の方へ取れば是位ひ世の中に便利なことはないですな。尙ほ又別段南京政府の言ふことを聞いて居らんならぬこともないから追々見做うて支那全土がさう云ふ風になるんだらうと思ひます。どの位ひ發明になるか、二十出来るか十五出来るか知りませぬけれども追々さう云ふことにならんでなからうかと私は豫察して居ります。それだけが最近に於て支那の變化。まあ共產黨が来たとか何とか書いて居りますが、是も年中行事でどこへでも出て來ます。共產ですから、あいつ食へぬやうになつたら誰ぞの産を合はさなければならぬからどこへでも出て來ます。此間此邊から此處へ来た、今こつちに来て居ります、又こつちへ出て来た、食へぬやうになつたらどこへでも出る奴です。これが今後出ませう。

私は支那問題は極めて冷淡に考へてゐます。あんなものに取り合うて居るやつは馬鹿やと思つて居ります。よく聞かれるのです。支那の將來はどうなりませう、と聞かれる人がある。さうですな、それはどうなるか知りませぬけれども、さう云ふことは考へる必要がないから私は考へませぬ。どうかなるんでせう。日本はどうすれば宜しいでせう。放つといいたら宜しい、大が喧嘩して居るのを尻からついて歩かれませぬ。これは放つて置いたら宜しい。えらい私に質問をした人は失望する。何とか尤もなことを云つてくれと思つて居るでせうが云ひませぬ。馬鹿者を擲へて尤もなことを云ふやつが馬鹿です。大谷は馬鹿ですけれどもそこまで念入つて馬鹿に行きませぬ。放つといつて結構馬鹿で居られるから、毛をつけてまで馬鹿になる必要はありません。放つといいたら宜しい。放つといつて悪い時には悪いと云ひます。滿洲問題の時には放つといつても宜いとは云ひませぬ。滿洲は獨立せんならぬと云ひます。けれども後は好きなことをさせて置いたら宜しい。今後は放つて置かれたら一番宜い。よく支那問題を聞く人が、どうなりませうと云ふの勝手にすることです、と云うて置かれたら宜しい、私共は放つて置く考へです。何時まで放つて置いて宜いか、どの地方を放つて置いて宜いか是は幾多の變化に依つて吾々が決めなければなりません。先づアジアの方はさう云ふ譯で極めて平穩で、恐らく今泰

平なのはアジアとアメリカだらうと思つて居ります。

アメリカと云ふ國は南アメリカは、澤山國がありました、是がちよ／＼喧嘩をして居る、最近はまだ疲れてしまつて喧嘩疲れをして國境問題などは、もう分らぬ、決まらぬといふなりで決らぬと決めて放つたらかして居る。(笑聲)北アメリカは是はイギリス領とアメリカ合衆國の二國で、メキシコ以南は又別に中央アメリカで細かい國はありますけれども是は昔から喧嘩せぬ國ですから、是はまあ何時でも喧嘩せずに居ります。南アメリカは相當やつて居るのです。こないだ中もありましたけれども、もう喧嘩づかれたんでせうな、埒のあかぬ喧嘩をして居つたのですから。

それですから、先づ主な所で穩やかなのはアジア、アジアが一番穩かな中に遣入つて居ります。此の滿洲國境に起るソツイエツトとの色々の衝突から、中には日本とソツイエツトとの間に戦争でもありやすまいかといふ馬鹿なことさう云ふ愚問を私共は受けたことも度々あります絶對にないと云ふことだけ此處で斷言して置きます。決してありません。何故ないか。戦ふ必要がない。戦ひと云ふものは冗談ことぢやいかぬのです。一國の國運を賭さなければならぬ。

日本はソツイエツトと國運を賭して戦はんならぬそんな必要はありません。日本の危急存亡の時にはどこの國とでもやらなければならぬか知れませんが、往年の對露關係のやうに朝鮮を壓迫して朝鮮海峡まで伸びて来る。其次は本國に來ますでせう。仕方がありません。ちよ／＼せうりに来る位でそれ程遣入つて來やしません。もう少し遣入つて來たらやつたらうと思ふとります。鼠が穴から顔出して、シートと云へば一寸引込む、又覗きかける、又シートと云へば直ぐ引込む(笑聲)こんなことで何の戦争になりますか。此間少し鼠が此邊(ルルハ喇西タウラン)へ出て來よつた。外蒙政府を通じて顔を出して來よつた。顔出して來たやつをピシヤツと撲つたです。關東軍が四五倍も強い力のもを粉微塵に撲つた、一遍撲つたらもう來ませぬ。(笑聲)大抵あれ位ひ撲ると中へ遣入つて來ぬですこつちの方は(東部)の方は向ふもこわいことは能く知つて居るから來やしません。ちよ／＼穴から首を出す位ひのものです。穴から首出して戦争は出來ませぬ。私が云ふのではありません、板垣參謀長が云つて居ります。そんな馬鹿なことがあるか。さう云ふことは三十年前ロシアと戦うたもんだから日本人はロシアと云ふたら戦争せんならぬものと思つて居る。喧嘩相手に取つてもちつとしつかりし

たものなら喧嘩相手に取るけれども、あんな奴では相手に取れませぬ、我が帝國々民の恥辱です。「いらつ」と云つたらシニーツと遣入る、「こらつ」と云つたら宜いのです。(笑聲)是は我が國民が昔のそれがあるもんぢやから日本人がこわがるやらうと向ふで思つて居る。何の爲めに埒もない國境へちよこ／＼出て来るかと云ふと向ふのやつは日本の強いことをよく知つて居るのです。勝目のないことはよく知つて居る、よく知つて居るから窺きよる。何で窺くか。この通り、見い、わしの國は強くなつて居る、日本はどうしよりもせぬ、國境まで出てもどうもしはせぬ。かう云つてロシアの外の奴に自分所の強いことを見せなければならぬ。是は内政問題です。本當に強いなら堂々と遣入つて來たら宜い。遣入つて來たらピシヤツとやられるから、ちよつ／＼と出てこわいから直ぐ引つ込んで自分の國境の中に遣入つてしまふ。日本の方は國境より向ふに行かぬことを知つて居るから、やる位ひなら本當は國境越えて來る筈だけれども矢張り恐ろしいからよう來はせぬ、斯う云つて居る。日本は恐ろしいのでない先き申した通り條約を實に正しく守る國ですから國境と決めてある線をよう越えはしませぬ。さういふことをよく知つて居るからちよこ／＼出たり遣入る。戦争は断じてないといふことを申上げて置きま

す。併し喧嘩といふものは二人寄つてやるもので一人で喧嘩をするといふことはないからロシアでも大馬鹿が居つて國境越えて遣入つて來たら、それはなぐらんならぬかも知れぬが、今位ひのロシア人の智慧の程度なら恐らく遣入つて來ますまい此間ハイラルの南の方に遣入つたのも二月末の事件があつたので、スパイ共があることないこと言つてやつたのです日本の陸軍の内部は割れて居る今なら遣入れるかも知れぬと云つたら遣入つて來た。遣入れるかも知れぬと言つたのが事件が起つてから約一ヶ月の後、其位ひ血の巡りが遅いんです。もう一ヶ月早くあの翌日位ひなら關東軍もびつくりしたかも知れぬが、一ヶ月も経つて關東軍の方は用意して待つて居るのだからピシヤツとやられた。ピシヤツとやられて引つ込んでそれしまひ、二度と來やませぬ。それ位ひ血の巡りが遅いんですから絶対にありませぬ。貴方方は安心なさつて宜しい。併し斯う云ふことだけは吾々は用意して置かんならぬ。ロシア人といふ奴は洵に強い者に弱くて、弱い者に強い奴です。我が日本帝國の強さを知つて居るのは向ふの中央の幹部に立つものは知つて居ります。世界で自分の國へかゝつて來る國では一番強い國だといふことを知つて居る、敗けたからいふのではない、敗けた後に生れた奴でも知つて居ります。出先に居

る奴は知りはしませぬ。それだから滿洲の軍備はまだ／＼増さなければなりません。どこへ出ても出たらピシヤツと撲るだけの軍備は増さなければならぬ。陸軍大臣が關東軍を強くしなければならぬと云ふのは私は當然のことだと思ひます。成可く強くしなければならぬ。強きさへして置けば戦きになりませぬ。こつちが弱かつたら分りませぬ最後の動員までして、こつちから兵を送らんならぬ。時機があるかも知れぬ。是はまだ／＼關東軍の力を二倍にも三倍にもしてロシアにさう云ふ不心得の起らぬやうにしなければならぬ。弱い奴に限つて強いと思つたら出て來ませぬ。弱いと思つたら出て來ます。

是は話は別ぢやが、此間非常に馬鹿な泥棒があつた。兵庫縣の警察部長の額瀨さんの家に泥棒が這入つた。額瀨と云つたら名うての劍道の達人で、今以て自分が警察道場へ行つて叩き合ひをやつて居る人です。警察部長の上に劍道の達人の家へ行つたから一遍に押へられて居る。世の中に泥棒の馬鹿も是が第一やらうと思つて居ります。(笑聲)成程馬鹿には違ひないが泥棒の方では額瀨の偉いといふことも知らず警察部長といふことも知らぬから這入つた。劍道の達人で警察部長といふことを知つたら泥棒だつて這入りはしませぬ。

露助もそんなもので向ふの現場に強い者を見て居つたら決して國境を侵して來やしませぬ。知識のないやつだから日本の本國がどの位強いかわりませぬ、現場だけしか分りませぬ。今貴方は私が申上げたから全體の形勢が分るから宜うござんすが、ロシア人は分りませぬ。現場の目の前だけしか見えはしませぬ。現場の日本の力が強かつたら強いと思ふが目の前に居らなんだら弱いと思つて居る。だから目の前へうんと強い力を持つて行かんならぬ。さうしたら國境を侵して來ませぬ。額瀨といふことを知り、警察部長といふことを知つたらどんな泥棒でも這入りはしませぬ、それを知らぬから來よつた。日本人でも其位馬鹿な泥棒が居るのだから(笑聲)露助共が今の關東軍のやうに手薄い兵力なら行けると思ふのも無理はない。ドサクサがあつた一ヶ月後でも、まだドサクサして居ると思つて出て來よる。日本人はそんな馬鹿なことはしませぬ。もう撲られたから二度と來やしませぬ。又大方この秋位ひに來ませう此の十月位ひに來るぢやろと思つて居ります。何故か。十月頃から彼の邊は草が枯れてしまふので馬に喰はすものがなくなるから、それ位ひ泥棒しにハイラルの南の方にチヨロ／＼來るんぢやないかと思ひます。關東軍は八月位ひから準備をしませう、もう忘れた時分やらうと思つて出て

來よる。又一遍撲られてそれから來年まで來ますまい。是は關東軍のまだ力を増さなければならぬ。之を國民がこの費用を情んだら酷い損害を負擔せんなりません、却々そんな安い金では濟まぬ、多額な無益の費用を出さなければならぬ。私は滿洲軍備の強化といふことは當然のこと、思つて居ります。もう後三十分よりございませぬから我が帝國がこれから後どう云ふ工合に進んで行くかといふことを更に詳しく地圖の上で申し上げます。

我が帝國のこれから進んで行く道は、もう國民全部が勉強するといふことよりない。國民全部が勉強するといふのはどう云ふことか、今まで怠つて居つた譯でありませぬけれども今までは考へが洵に狭かつた。殊に京都の方には申上げるが、頗る京都の方は因循姑息な所がある、善く言つたら保守主義で宜いけれども悪く言つたら因循姑息で進歩といふ考へがない。是が洵に悪いことではだつたら日本帝國は衰亡して來ます、幾ら勉強しても何にもなりません。今汽車に乗つて走ると、レールの横を歩くのとどつちが勉強して居る。レールの横を歩くやつが勉強して居る、汽車では寝て居つて行く一日歩いて汽車が一時間走つた程よう歩きませぬ、三十分も歩かれませぬ。此の頃の急行になつたらさうなる。無益な勉強は因循姑息になる。十分

進歩した考を持たなければならぬ。是が我が帝國の進んで行く道です。それはどう云ふ點に進歩するか、どう云ふ點も總ての點に進歩する。よく色んなことを云はれる、現代に於ては智育ばかり重んじて徳育が遅れたから此頃の教育は悪いとか、體育がどうやとか色んなことを云はれるが、私共はさう考へない。總ての教育と云ふものが三百六十度に發達しなければならぬ。假令一點たりとも角度があつたらそれだけ缺陷を生じて居るから智育ちやらうが徳育ちやらうが體育ちやらうが何育でも三百六十度に正圓形に發達しなければならぬ。我が國民の思想は正圓形に伸びて行かなければならぬ。それが假令一つの點たりとも、姑息な、保守は結構だけれども、進まないこの考へで角度が一寸でも大きな所があつたら帝國はそれだけ伸びが弱くなる三百六十度の伸びを持たなければならぬ。これは京都の人はよつほど考へて敵かぬと非常に遅れてゐますから。

先づ此圖を御覽になつたら分りますが、一番南の端は今の所此處まで舊日本が來て、新日本がこれまで來て居ります。北の方は海は凍りますが、北緯五十一度の阿頼度島よりベーリング海峡除いて見た所が銚子を取れば、鐵も取れる。銚子はうんと取れるが鐵は大したことはございま

せぬ。南の方は非常に多きうございます。滿洲問題の起る直前から昨年の初め頃までは、もう北の方から一寸も手を抜くことは出来ませぬでしたから私は大連に住んで居りました。漸く昨年位ひから少しく滿洲の方か落著いて参りました、言換へれば滿洲帝國の基礎が固くなつたのです。それまではまるでやはらかい塊りのやうなもので、どうかするとグニヤツときさうだつたから非常に心配をして居りましたが、昨年から漸く基礎が固まつて來てもう本年などは餘程よくなりました。是から我々は今まで北向いて居つた眼を南に向けなければならぬ時代が來た。よく色々のことを言はれます、日本は北守南進が宜いとか、南守北進が宜いとか、よく色々のことが云はれますが、私はさう云ふことは考へない。我が帝國は東西南北主義(笑聲)どこへでも出る、三百六十度に出る。抑も考へて御覽なさい。地球の恰好は圓い恰好をして居る、吾々の地球は圓い。地球の恰好が四角なら四角に出る、三角なら三角に出る、けれども地球は圓いから吾々も圓く出るより仕方がないぢやありませんか。吾々は東西南北主義、どこを守るも退くもありません。皆進む。唯今の陸軍大臣は私の極めて懇意な人、兄弟同様に交際つて居る人ですが、あの人が新聞に書いて居ります。或る人が寺内大臣に、我國の國是としては北守

南進か南守北進かどうですか、と問うたら言下に答へて、我が帝國の國是は東西南北主義ぢやと言つて居る。矢張り私と同じ意見を有つて居る。我が帝國は東西南北主義、東西南北主義でありますけれども、その動き工合には時には先後順序といふものがある。本因坊のやうな名人も碁盤に一時に四つも五つも石を打つのではない、一つ宛互ひ違ひに打つ。どんなへボが本因坊と打つても互ひ違ひに一つ宛打たんならぬ。本因坊偉いからと云つて一氣にバラ／＼と打つ譯には行かぬ。それはその先後は多少あり、そこに多少の順序といふものはありますけれども、伸びるといふことは東西南北主義に考へなければならぬ。今までは滿洲國の建國が主であつた。苟くも滿洲帝國と云ふものを樹て、我國が之を擁護して立派な國にしてやるまでは一寸も手を抜くことは出来ない、漸く是が基礎が固くなつた。また／＼本當に強くなるのには時間がかゝりますけれども少しくまあ基礎が出来た所で一寸一段落。今まで南の方はそれがために普通程度にして居つたが、少しく趣を變へなくてはならぬ。それが昨年の末。私共は一月一日からと申上げますけれども、一般世間の人には恐らく下半年期に這入つてからでござんせう。私はいもう昨年の秋から明年は南に向かんならぬと思つて滿洲の方はその積りをして置きました。

さうして昨年の二月から臺灣へ行つたんでございます。昨年は殆んど臺灣に行つて居りました。春と秋と行つて居りました。本年は南洋群島の方で正月を使ひましてそれから又三月に臺灣へ遁入りました。この秋の十月から十一月頃又臺灣へ行つて参ります。

少しく吾々が南に出かけなければならぬといふ状態になりました。それは何か云ふと、やはり本因坊でも一目づゝ打つてのやからこつちの隅に打つたりあつちの隅に打つたりせんなんぬが盤は四方皆同じやうにとつちにも出る、本因坊でも一方だけでは行きませぬ。皆出る皆出るけれども順序がある。貴方方もさう考へなさいかね。嘗て此處の校庭で滿洲問題を申上げたのと唯今の日本が同じ時機、私が南方の問題を申上げるのはあれと同じ時機になつて居るのだと貴方は思つて戴きたい。私は直ぐ自分の身體を持て行きます。貴方はそれを御覽になりますと今どつちに重點が向いて居るか分ります。恐らく私の身體がどう向いて、どう動いて居るかといふことを御考へになつたら今の日本の重點がどこへ向いて居るかといふことが分ります。重點の向いて居らぬ所には持て行きませぬ。私の身體は一つよりないから、こゝらから自由自在に身體が分けられるやうになつたらもうちつと氣の利いた藝もしますが、鑿鑿に居る間はこの身

體は一番大事な所に持つて行かぬと埒あきませぬ、此頃大谷どこに居るか、といふことをお聞きになつたらどこか行つて居る所が一番大事な所と思つて下されば間違ひない。是から又其方へ行きます。

是から南の方のお話を申し上げます。全體此の圖が少しこつちの此の邊までかゝつて居ります。東經百七十五度まで行きますが、此間ヤルート島まで行つて見て参りましたが、兎に角海の上になちよこ／＼島があるだけで全部の島をかき集めても京都府だけの大きさが無い筈です。人間も十萬そこそこしか居りませぬ。百八萬の當地から考へて見たらどこに人間が居るかいなと云ふやうなもんです。向ふに居るのは魚だけ。水の中は京都市の人口位ひぢやない。人間は極めて僅かしか居らぬが、併しながら勢力範圍としては此位な大國はない。百三十五度の線がバラオですが百二十五度百三十度の線まで来て居り、百三十度から百七十五度まで行つて居りますから四十五度の經度の幅を持つて居ります。北緯五十度位ひの所では小さくなりますけれども赤道の方は七度位ひですからうんと幅を持つて居ります。百十軒位ひ一度の幅がありますし、非常に廣いものです。私はこのロシアがシベリアを持つて居るのと日本がこの南洋群島を持つ

て居ると同じ位ひの面積のものと考へて居る。貴方方は陸の上に住んで居るからシベリヤを見て大きいなと云ひますけれども私共はさうは考へませぬ。南洋群島の方がシベリヤより大きうございます。何となればシベリヤは是(ツンドラ帯)から凍つてしまつて使はれぬ。夏だつて行かれぬ。冬は無論のこと。使はれるのはシベリヤ鐵道のある僅かな所だけです。此處(トルキスタン一帯)の所は沙漠になつて居る。使へる所は極めて僅かなものです。さうして鐵道線路のある所は宜しいけれどもない所は馬に乗つて行くか駱駝に乗つて行くか何かに乗つて行く。道がなかつたら自動車もいかぬ。南洋は船にさへ乗つて行つたらどこへでも行けます。所々暗礁があるから暗礁の所さへよけて行けばどこへでも行かれます。シベリヤでは物は作れぬといふけれどもこつちは魚が捕れますから比較になりませぬ。ずつと南洋の方が宜しうございます。是は歐洲戦争のお蔭で、日本の領分は小さいものしか呉れぬ他の國は欲ばつて大きなものを取つたと言ひますけれども私共はさうは考へない。彼の大きなタンガニーカとかあちらにちよこく小さいドイツの植民地がありました。あれよりも遙かに此群島の方が結構です。兎に角往來の自由性に富んで居る。船に乗つたら道路つけぬでもどつこへでも行ける。海

の中には魚が向辨當で歩いて居る。こつち(シベリヤ)の方は種は蒔いてやらんならず、出来たものは刈らなければならず向辨當で却々生えてくれませぬ。魚は向辨當で勝手に網で取つたら宜しい。(笑聲)國境線も地圖の上に勝手に條が引いてあるので、こつちの線からあつちへ行かうとこつちへ行かうとならぬといふものは誰も居らぬ。百三十五度といふけれども、あれから西經の百七十五度まで行かうと九十度まで行かうとならぬと云ふやつは誰もない。私は此間行つて「どうしても南洋群島の生命は水産である。漁業を盛んにしなければならぬ。」「大きに御尤も、我等南洋もその考へである。」御尤もな話ぢや。「それから、東の方は今のやうな小さい舟ではあまり遠方へ行かれぬからもうちつと大きな船をお造りなさい。」「それを考へて明年の豫算には水産試験船も大きなものをやらうと思つて居ります。」私と同意見であつた。どの邊までを漁區にする考へか。是から五千六七百海里を漁區にする。それ位狭い所では魚の分量も知れたもんで、もう少し向ふへ行つて、ガラバゴス群島の方まで行つたらどうですか。向ふには正覺坊が居るといふ話ですが、そこまで行つたらどうです。ガラバゴスといふ群島はペルーのつい脇の方で正覺坊が居るんです。あすこの海で正覺を捕る、ペルー政府との間に悶着が

起つたら煩いで泳いでゐる海の中で捕つたらよいぢやありませんか。捕つて煮て食つたらしまひ。遠慮はありませぬ。兎に角南米の岸三海里の所までは行つても差支へないのやから彼の邊まで伸びるやうにして下ない。さうしたら餘程大きな日本の領分になることになるんだから、何も畑に物を植えるだけが領分ぢやない魚取つたら宜い、日本人は魚食ふから食はしたら宜い大いにやりますと南洋廳は頻りに云つて居りました。大方兩三年の中には大分魚を捕つてくれるやうです。唯今やつて居るのは鯉節だけです。鯉節も宜いけれども鱧の大きいやつが居るから、鱧の鱠を取つて食つたらどうです。それは居りますけれども却々そこまで行きませぬ。あれはかまぼこより役に立ちませぬ。鱧も役に立ちますし皮も役に立ちます、鱧取つたらどうです。是も考へて置きますと云つて居りました。おいしいものは殊なものはおませぬから別に考へなければならぬ。

私は農業が本業で水産の事は分りませぬから魚のことはよく知りませぬけれども、よく考へて見ると農業より水産業が遙か有利でございますから、是から少し漁師にならうかと思つて水産の方を調べて居る。さう云ふ譯では日本領分になつたのは非常に結構ですが、そこに一

寸困つたことがある。それは貴方方も御同様だが、人間と云ふやつは魚と違ふから海の上に住んで居られぬ。どうしても土の上に住んで居らんならぬ、船の上でも長い間置いて置くと工合が悪い。好い加減に戻つて來なくちやならぬ、あのせゝこましいマツチ箱は窮窟でならない船の上ばかりにさう人間を置いてく譯には行かぬ。自動車より汽車が大きく、汽車より船の方が大きいけれどもそれでも程度がある。矢張り土の上に居らんといかぬ。京都府だけの面積がない場合、富の程度から云ふと非常に有利だけれども生活の程度から云ひますと洵に狹隘を感じる。それで私共はあれを南の方の裏口と考へて居る。お座敷ぢやないので。部屋は洵に少々よりない。表口はこの臺灣へ持つて來なきやならぬ。

臺灣は相當の、九州位ひの大きさがあります。九州には二千萬近い人間が這入つて居るから臺灣にも千萬近い人間が入られる筈です。あの真中にどえらい高い山がある、便利の悪い山でどうもあいつ飛行機でも一寸越え悪い位高い山です。私は一番高い新高山のとつべんまで上つて見ましたが相當えらい山ですが段々聞いて見たら新高山が一番樂なんださうで後は皆きついと云ふ。樂なんであれ位ひえらかつたらきついな奴はあがるのをやめませうとやめることにし

ました。その新高山からして三千九百五十米の上にもで行くと相當きついです、さう云ふやつが脊髄を成して居る。それで東海岸と西海岸の交通は一番北の端の基隆か、一番南の驚巒鼻を廻らなければなりません。さうせぬと東西の聯絡が取れない。是が九州には大分劣つて居りますけれども、是は金次第で、今の状態ではさうですが、追つつけ中央山脈の胴腹に穴開けてやらうと考へて居ります。其うち穴が開けられませう。富の程度から言ふたら驚くべき富を持つて居ります。伊藤公が是を取つてくれたといふことは偉い事業の一つである。私は非常にそれを喜んで居ります。彼のお方が明治陛下に對して盡された忠義の最も大なる一つだと私は考へて居ります。李鴻章がうつかりして渡してしまつた大變なものです。向ひ側の福建や何やが幾ら東になつたつて敵ひませぬ。調べれば調べる程偉い富です。九州の實力を二倍は超えて居りませう。唯今までは捨て、あつたからそれだけの富が出ない、漸く六億前後位のものしか外へ出しませぬ、今の所では北海道よりはまだ少し富の力が足りませぬが、そんなものぢやありません。北海道は此處の知事をして居つた佐上信一と云ふ非常に優秀な長官が行つてから特に産業を奨励したし行つて居る。所の住民が皆日本人である台灣も日本人だけれども、本支那か

ら移住した人間で吾々と同じだけの教育を受けて居りませぬから北海道並に行きませぬ。人間の數は五百萬位ひ居りますから相當居るのですが、能率が足りませぬ。生養みんな入れて五百五十萬位ひしか居りませぬ。京都五つ位ひよりありませぬから旨いこと出来ませぬ。私は一千万は樂に入られると思ひます。十五億から二十億位ひのものは出さなければならぬ。有難いことは石油が非常にあります。まだ石油のある所まで井戸が居かないから出ませぬけれども井戸が居いたらえらいもんでござんせう。まあ百姓の方から言つたら日本第一の所であれ位ひ結構な所はありませぬ。是はもう何作つたつて出来ぬものはないし、温度の點から云つたら新高山の上には雪が降つて居りますから寒さの點は京都と餘り違はぬ寒さを持つて居ります、高雄に降つたら印度と別に變らぬ温度を何時も持つて居ります。斯う云ふ寸法で上下でどうでも温度の調節が出来る。(笑聲)結構な所です。是が私は表支關、此表支關にはまだ設備をしなければなりません。また支關になつて居りませぬ。つい此間までは裏の隠居所やつた。所が前へ大きな大道路が出来たので、隠居所を改築して其大道路へ向いた支關にしようといふのが昭和十年十一年から十五年までの設計でござんす。此設計で大道路に向つて支關になりますと、其支

關から睨んだらシンガポールまで睨みが利きます。本から大通りだつたが、大通りの人の通りが少なかつたから一方に高い塙廻して隠居所に使つた。我々が行つて喧ましく言つた。不都合千萬な、是はいかぬから大支關を此處へ造れ、といつたから今造る用意にかゝつて居ります。五年位ひかゝりませう。支關を拵えるまでに吾々の方はさう云ふ譯で、是から南といふものに向つて行かねばなりません。

尙もう十分よりありませんが、吾々が考へなければならぬのは、それは洵に天下の形勢は能く分つた、歐洲の形勢も日本の執るべき國策も分つたが、日常の吾々の生活、總て京都で云へば各種の工業であります、さういふものとの間に少しく距離が空いて居るやうに自分が考へられると思ひますが、何も距離は空いて居らぬのです。そいつを距離が空いて居ると考へるから因循姑息になる。其の一例を申し上げれば、どうしても我國の執るべき所の方策は自給自足の原則を動かしちやいけません。中には貿易をやつて居る商人などは斯う云ふ議論もあるんです。パーター・システムでどうしても少しは向ふのものを買つてやらぬとこつちのものが賣れぬ。是は飛んでもない間違ひです。こつちの必要なものを向ふから買はんならぬやうなことでは駄

目です。必要なものは自分の國で作つたら宜いのです。よそへ賣るといふ原料ならば幾らお買ひなすつても私は賛成する、言換へれば、日本の綿布のやうに、日本で使ふだけの綿は日本の領土の中には出来ないのです、これだけの綿は日本の領土の中へ作つて行く。日本人が着るだけの綿布は日本の綿で着るのだ。併しそれ以上の綿を外國へ綿布にして出す、斯う云ふのだつたら大谷大賛成する。百億は百二十億にして來れば宜い、千億お買ひになつても構はぬ、千二百億にして來れば宜い。人絹を賣るといふても人絹の原料が足らぬ、綿布賣るにも原料が足らぬ、何が足らぬ彼が足らぬちやどうもならぬ。足らしたら宜い。是になると農林省に非常に悪い不調法があります、此處は帝國議會と違ふから農林大臣に向つて議論する必要はない、私は申しませぬ。是は東京へ行つて島田大臣と私と差向ひになつたら宜いことで貴方方に言ふ必要はありません。此間島田大臣に言つて來ましたが、私の意見と同様だと言ひましたから追々農林省の間違つた所は直してくれると思ひますが、是で日本の自給自足は餘程妨げられて居ります。是から直しにかゝりますが、兎に角自給自足と云ふことを一番にやらなければならぬ。農産物だけでありません、總てのものがさうです。自給自足して行つてそれ以上の残りの外へ出

すものに對しては向ふのものを成るべく買うてやるといふバター・システムを執らなければならぬ。今日日本のもので出来ないものはないのです。出来る出来ぬはするとせぬと違ふ、せぬから出来ぬ。現に今まではバターの如きチーズの如きは殆んど舶來品であつて、漸く岩崎の小岩井の農場だけが幸うじてバターを作つて、私共それを使つて居た。此頃は段々北海道がバターを出してゐる。佐上のやうな偉い人だつたからやつてくれた。が幾ら佐上だつて空中栽培も出来なければ空中で牛を飼ふことも出来ぬ土があつたから出来たんだ。此頃はロンドンへバターとチーズを送つて居ります。バターやチーズと云つたら日本人の食ふものぢやありません。吾々は食ふけれども元來日本人は六十年前はそんなものは食はなかつた、食はなくても日本人は生きて居る。所が毛唐さんはそれを食はぬと死ぬよつてそれを北海道で作つてロンドンに出して居ります。是で分つて居ります、どんなものでも出来る、是は唯一つの例です。丁度ロンドンで味噌作つて日本へ輸入して来たやうなもの。(笑聲)ロンドンで味噌や醤油を作つて日本に輸入されて居るやうにロンドンからどん／＼買ひよる。是は北海道だけぢやない、どこでもやつたら出来るのです、棉花でもまだ／＼出来るのです、バター作らしたら出来る、ジャムを作ら

して居るからいかぬのです。餘り言ふと農林省の攻撃になりますが、どうも農林省の農業の指導方針が不徹底であつて誤りを起して居るために斯う云ふことになつて居る。北海道産の如きは明かに佐上信一が私に言つとつた、農林省の云ふことをば聞かなかんだから是だけ出来た、と言つて居るのです。是は指導方針が非常に悪い。京都なら農産物の重要なものは先づ茶です。是等でも京都の茶業者と云ふものに疎なものは居らぬ。此處に茶業者が居るかも知りませぬが面前で私は罵言する。更に茶に對して進歩した考を持つて居らぬ。荒廢するより他に仕方がない誹毀罪に問はれ、ば裁判所で辨明します。茶といふものの栽培に更に進歩を見ない。是では京都の茶は荒廢するより他に仕様がありません。是がその一つですが、まださう云ふのは澤山あります。だから自給自足の原則になればさう云ふことは皆直してかゝらんけれども。それから一番今弱つて居るのは羊の毛です。こいつに非常に困つて居るのですけれども、是等も國のためなら羊の肉を食はんといかぬ。四つ足は牛肉以外のものは食ひませぬ、豚でもまづい。京都のは豚でも羊でもさうです。私共台灣の豚は食ふけれども京都のは食ひませぬ。京都の豚はまづい。滿洲でも蒙古から来た改良されたやつは宜いけれども改良せぬやつはまづいていかぬ

京都の人は旨いも不味いもない、羊だから食へぬ豚だからまづい、くさいと言うて食はぬ。(笑聲)嗜好は一朝には變へられぬが少し経てば好きになる。自分の食慣れぬものでも慣れて行つたら食える。必要に應じて世界のやつが食ひよるものならなんでも食はんならぬ。大谷は大抵のものは食つて居ります。鼠でも蛇でも何でも人間の食ふものは食つたけれども石は食つたことではない。(笑聲)必要があつたら石でも食ひます、土でも食ひます。日本の國のために國是に必要とあればどんなものでも食はなきやならぬ。營養のないものを食つてはいけませんねけれども營養のあるものは食つたら宜いのです。さう云ふ點にまだ吾々の所には直さんならぬ所があるのです。もう時間がございませぬからあんまり是は申上げて居られませぬが、大體に吾々もつと進歩した考へをして行かぬならぬ。今度又この京都市だけのために、染織工業に關し或は又農産物に關し題を改めて申上げませう。

餘り細かいことを今日は云つて居る時間がないしそれは釣合はない、唯吾々は進歩してやつて行く。要らぬものは外國から買はぬ、何でも國內でやる、餘つたらその原料をバター・システムで成るべく向ふから買つてやる。成べく賣るやうにしよう、けれどもこつちの必要なもの

のだけはこつちで拵へよう。それですから一見矛盾して居るやうですけれども矛盾してない。ちやんと劃然線を引いて居る。この線からこつちは自國のもので行く、是以上のもものは成べく向ふのものを取つてやる、又それに向ふへ賣つて交換をした方が宜い、斯う考へて居る。斯うさへすれば列國の間は十分協商を保つて行く、さうして日本の國力が少しも衰へず、その上に尙ほ京都は觀光都市である以上は外國人の這入つて來ることを極力優待しなければならぬ。是は友遠方より來る豈樂しからずや、と孔子聖人も云はれる。それを遠方から來たやつをだまからかして金を取る。そんなことは論語にも書いてない。孔子聖人に言つたらさういふことをやつてはいかぬと云はれたに違ひない。楽しからずや、といふことは騙して金を取る、といふこととは違ふ。よく考へねばならぬ。この外最近觀光都市の觀光設備が大風以來甚だ悪い。早く直さねばならぬ、是等が頗る因循姑息な所であります。是は改めて京都市として申上げますから、今日は唯進歩した考へを有つ、といふ一言の下に之を盡して置きます。丁度十二時ですから是でお話をしまひます。

尙ほ光瑞會の將來について申上げます。元來光瑞會といふものは私の後援をしてやるといふ

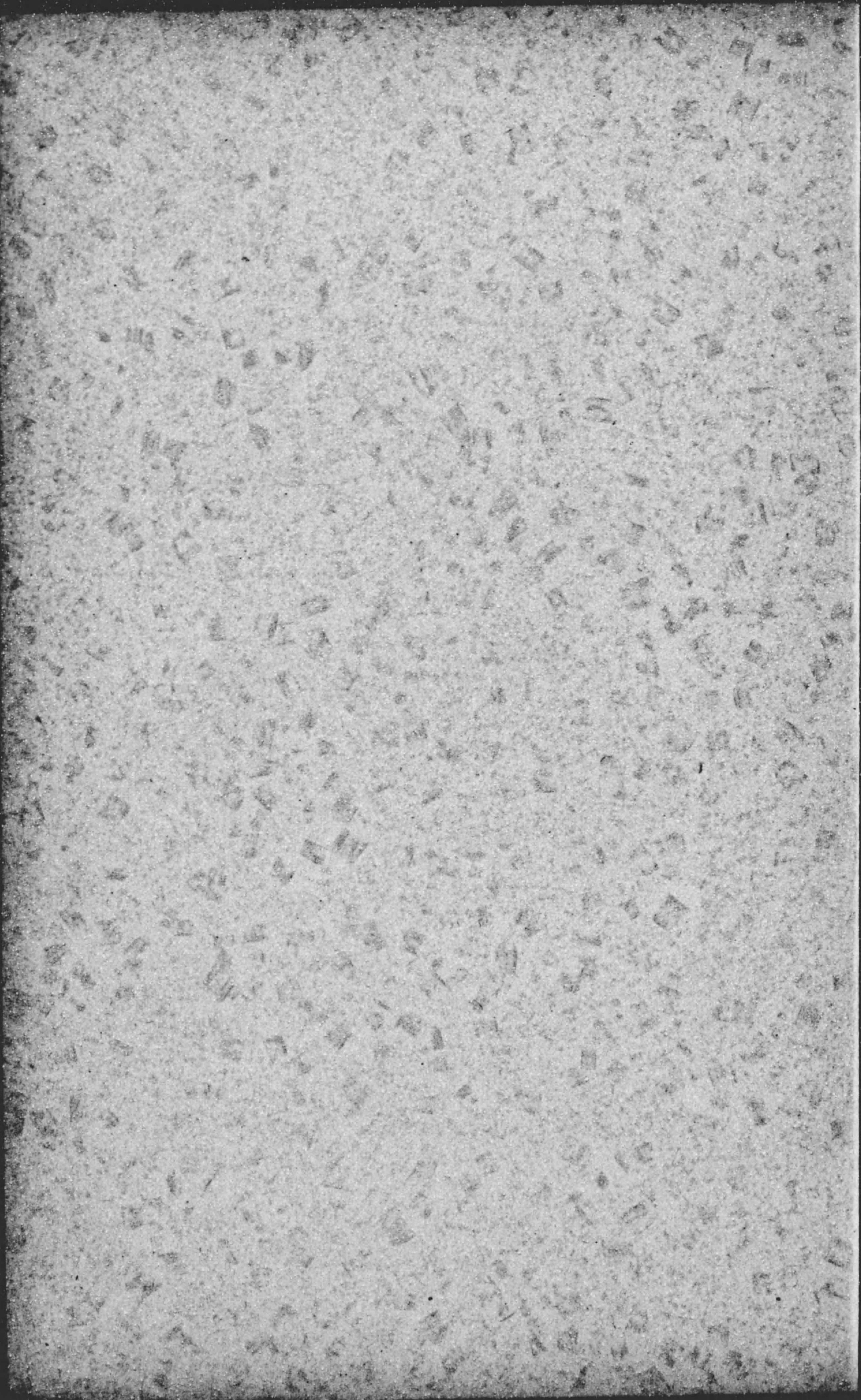
ことで出来た會であつたんですが、一向後援をして戴いたことは一遍もありません。(笑聲)してやるお積りかも知れませぬけれども汽車の尻を押して下さるやうなもので汽車の方は一向有難いとは考へませぬ。邪魔を避ばしたことはありませんが手傳うて戴いたこともありません。そんなことでは一向詰らぬ是から手傳うて下さいとは申しませぬ。

また大谷衰へたりと雖も相當の力を有つて居りますから或點に於ては私の方が會員諸君を引張つてあげます。今まで後援をするといふところの講演で話ばかりさゝれる。(笑聲)洵に善くないことです。不愉快でかなはぬ是では、けれどもそれもしてあげます。何となれば僕の會員と云ふものは自分の友達なんだから友達の知識を増進しその前途を明かにするといふことは私の役ですからそれはなんぼでもしてあげます、けれども貴君方ももう少し密接な關係を私との間に有つて戴きたいから今度此會を一種の大きなクラブの組織にしようと思ひます。どう云ふ工合にしたのが宜いか。それは發起人も居る、評議員も居る幹事も居る、色々の人が會の中に居られるからその人が寄つて貴君方と御相談なさい。兎に角クラブ組織にして皆が一つの心になつて動かぬ、筋々ばら／＼に人間の頭に頸がついて居るの、頸の先に腦が付いて居るの

と顔が一人々々違ふやうに吾々のみんな考が違ふと云ふのでは日本帝國は持ちませぬ。この會員が二千五百名この二千五百名位のけちな數では駄目ですけれども二萬五千だつて百萬の京都人の百分二パーセントであります。今は千分二、千人の京都人の中だつて二人よりはなない。五百人でたつた一人、四百人やつたら誰も居らぬでせう。斯んな心細いことではいかぬ。クラブ組織にして、さうして私は居らすとも貴君方互ひに話し合ふ、出来ればどこでも宜い、皆時々寄つて茶を飲むとかいふやうなことにして、それから時事問題があつたら互ひに自分の執るべき處置を考慮する。政治に關したことはいけませぬ私は政治家でありませぬ、政治に關したことは避けませぬけれども、寺内大臣も云はれた、現役軍人は政治は避けるけれども國といふことについては考へなければならぬ洵に結構で、私共あの程度の政治は私も避けない考へです。私の會員としてのあの程度までは持つて戴きたい。府會議員或は帝國議會の議員に常になつて居られる方はそれは御自身だけさういふ所にお立ちになつたが宜しい。會員としてはあの程度までの政治の考へを持つて戴きたい。さうすれば今日の場合如何に吾々は執るべきか如何に吾々は行くべきか、といふことを、年に一週ちやいかぬ、時に私は外國ばかり走り廻つて居ると三

年一遍も合はぬといふやうなことがある、それではいかぬ、クラブ組織にして常任幹事を置き絶へず寄つて意見を交換し、分らぬことは私にお聞き下さつたら會えなかつたら書面で申しませう。御商賣のことでも國內のことは知りませぬ、外地のことでお手傳ひが出来るとはお手傳ひをして差上げます。何ばでもやつてあげますから、さう云ふやうに彼我の聯絡をもう少しよく取らなければならぬ。唯講演があつた時ざつと来て話だけ聞いて今日は面白かつただけでは何にもならぬ。今まではさうなんです。遺憾千萬、邪魔にはならぬけれども何の役にも――自分の所の目的は達せぬ。今後はそれでクラブ組織にすると宜からうと思ふ。是から幹事の方からお話がありませうから約十五分程よく聽いて置いて下さい。其上今日は皆さんと一緒に御飯食べようと思ひますからお話済んだらお互ひ暑うござんすから前き水でも飲んでそれから御飯を。今日は是でお話しまひます。(終り)

昭和十一年八月二十五日印刷
 昭和十一年八月二十七日發行
 (非賣品)
 編輯兼發行所 京都市伏見區三夜莊内 廣瀬了乘
 印刷人 京都市猪熊通梅小路上ル 堤淨祐
 印刷所 京都市猪熊通梅小路上ル 読文化時報社印刷部
 京都市堀川通本派本願寺 室内部内
 發行所 光瑞會



Vertical text on the right page, likely bleed-through from the reverse side. The text is faint and difficult to read, but appears to be organized into columns. Some legible characters include "光" and "會".

